

## 4.2 附录 ペスト防疫報告書 (1940 年) (节选)

资料出处：日本貿易振興機構 (JETRO) 亚洲经济研究所蔵、FA011033。

内容点评：本资料为南满铁道株式会社“新京”临时防疫委员会的《鼠疫防疫报告书》，选取其中第二编“总务班”第十二章“农安派遣队”、第四编“检疫班”第五章“防疫费”和第六章“效果”。日军 731 部队于 1940 年 6 月对农安等地散布鼠疫跳蚤后，“新京”9 月 27 日爆发鼠疫流行，“新京”临时防疫委员会于 10 月 12 日成立。

第四章 給	...	...
第五章 給	...	...
第六章 給	...	...
第七章 給	...	...
第八章 給	...	...
第九章 給	...	...
第十章 給	...	...
第十一章 給	...	...
第十二章 給	...	...
第十三章 給	...	...
第十四章 給	...	...
第十五章 給	...	...
第十六章 給	...	...
第十七章 給	...	...
第十八章 給	...	...
第十九章 給	...	...
第二十章 給	...	...
第二十一章 給	...	...
第二十二章 給	...	...
第二十三章 給	...	...
第二十四章 給	...	...
第二十五章 給	...	...
第二十六章 給	...	...
第二十七章 給	...	...
第二十八章 給	...	...
第二十九章 給	...	...
第三十章 給	...	...
第三十一章 給	...	...
第三十二章 給	...	...
第三十三章 給	...	...
第三十四章 給	...	...
第三十五章 給	...	...
第三十六章 給	...	...
第三十七章 給	...	...
第三十八章 給	...	...
第三十九章 給	...	...
第四十章 給	...	...
第四十一章 給	...	...
第四十二章 給	...	...
第四十三章 給	...	...
第四十四章 給	...	...
第四十五章 給	...	...
第四十六章 給	...	...
第四十七章 給	...	...
第四十八章 給	...	...
第四十九章 給	...	...
第五十章 給	...	...
第五十一章 給	...	...
第五十二章 給	...	...
第五十三章 給	...	...
第五十四章 給	...	...
第五十五章 給	...	...
第五十六章 給	...	...
第五十七章 給	...	...
第五十八章 給	...	...
第五十九章 給	...	...
第六十章 給	...	...
第六十一章 給	...	...
第六十二章 給	...	...
第六十三章 給	...	...
第六十四章 給	...	...
第六十五章 給	...	...
第六十六章 給	...	...
第六十七章 給	...	...
第六十八章 給	...	...
第六十九章 給	...	...
第七十章 給	...	...
第七十一章 給	...	...
第七十二章 給	...	...
第七十三章 給	...	...
第七十四章 給	...	...
第七十五章 給	...	...
第七十六章 給	...	...
第七十七章 給	...	...
第七十八章 給	...	...
第七十九章 給	...	...
第八十章 給	...	...
第八十一章 給	...	...
第八十二章 給	...	...
第八十三章 給	...	...
第八十四章 給	...	...
第八十五章 給	...	...
第八十六章 給	...	...
第八十七章 給	...	...
第八十八章 給	...	...
第八十九章 給	...	...
第九十章 給	...	...
第九十一章 給	...	...
第九十二章 給	...	...
第九十三章 給	...	...
第九十四章 給	...	...
第九十五章 給	...	...
第九十六章 給	...	...
第九十七章 給	...	...
第九十八章 給	...	...
第九十九章 給	...	...
第一百章 給	...	...

州經濟研究所藏、FA011033。  
“臨時防疫委員會的《鼠疫防疫報告書》, 选取  
第四編“檢疫班”第五章“防疫費”和第六章  
各地散布鼠疫跳蚤后, “新京”9月27日爆發鼠疫  
立。

目次

第一編 總括	一
第二編 總務	五
第一章 概說	五
第二章 他機關との連絡協調	八
第一項 對軍防疫總本部	八
第二項 對市防疫本部	八
第三項 對滿洲國	八
第四項 對吉林省臨時ヘスト防疫新京聯絡部	八
第三章 人事	二二
第一項 勤員シタル人員	二二
第二項 青年隊	二三
第三項 表彰	二四
第四項 斡旋手續事項	二五
第五項 傷病	二六
第四章 給與	二六

第五章	資材	二七
第六章	工作	三一
第七章	宿營	三五
第一項	檢疫班(班員、醫師、看護婦)ニ對スル措置	三五
第二項	滿洲國派遣醫師並ニ學生ニ對スル措置	三五
第三項	瓦斯燻蒸消毒ノ際ニ於ケル措置	三六
第四項	農安派遣社員ノ歸還ノ際ニ於ケル措置	三六
第九章	露月町隔離地區ニ對スル處置	三七
第十章	宣傳	三九
第十一章	慰問	四二
第十二章	農安派遣隊	四三
第一項	編成出發迄	四三
第二項	農安ニ於ケル狀況	六二
1	農安村ノ人口	六二
2	現在迄ノヘスト發生狀況並防疫隊着農ノ狀況	六二
3	鐵道ニ於ケル防疫狀況	六三
4	關東軍ニ於ケル防疫狀況(滿鐵派遣自動車隊ノ活動)	六三

第二項	旅客、手小荷物	八九
第三項	配車	九四
第四項	荷役	九六
第五項	警備	九七
第六項	農安ヘスト防疫隊檢定	九七
第四編	防疫	一〇五
緒言		一〇五

目次

二

第五項	停留客車内宿泊人員……………	六七
第六項	農安驛構内要圖及列車停留狀況……………	六七
第七項	防疫隊ニ對シ施設供與……………	六七
第八項	到着荷物ノ處置……………	六八
第三項	軍引揚ケニ伴ヒ引揚キ滿洲國へ協力……………	七二
第四項	農安派遺隊ノ引揚……………	七七
第三編	運 輸……………	七七
第一章	概 說……………	七七
第二章	處 理 事 項……………	七七
第一項	旅客、手小荷物……………	七九
第二項	貨 物……………	八九
第三項	配 車……………	九四
第四項	荷 役……………	九六
第五項	警 備……………	九七
第六項	農安ヘスト防疫隊檢査……………	九七
第四編	檢 査……………	一〇五
緒 言	……………	一〇五

第五章

費 用

二七

第六章

工 作

三三

第七章

結 語

三三

第八章

防疫隊ノ活動ノ概況

三三

第九章

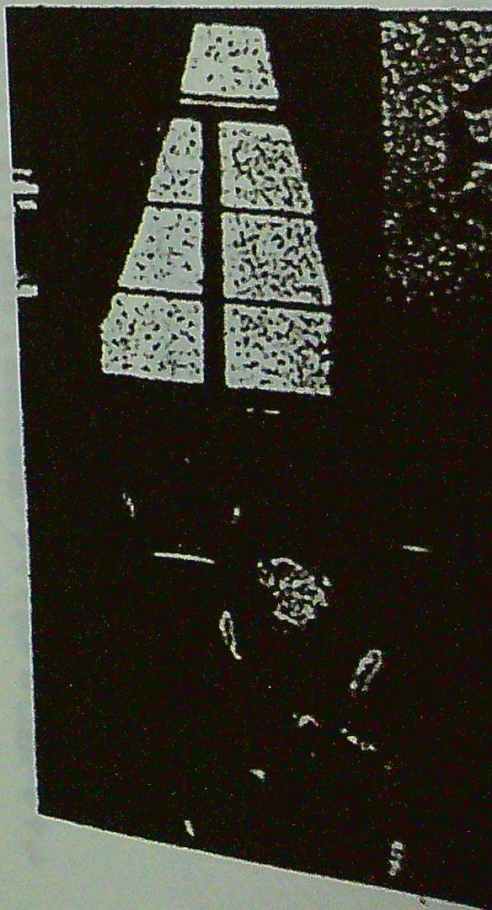
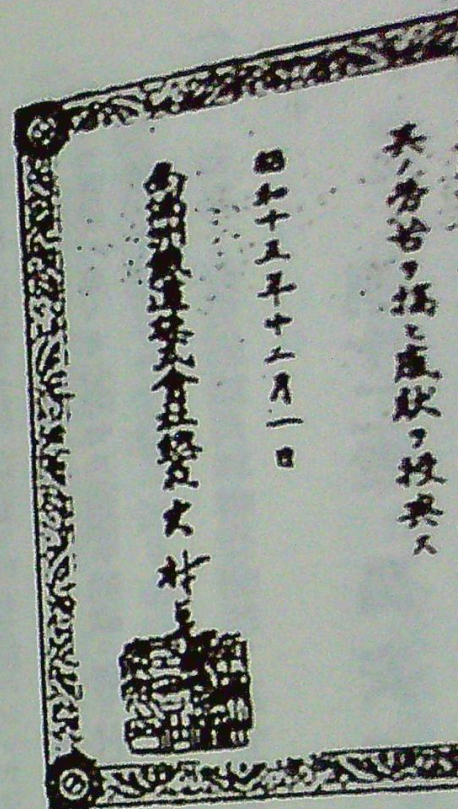
防疫隊ノ活動ノ概況

三三

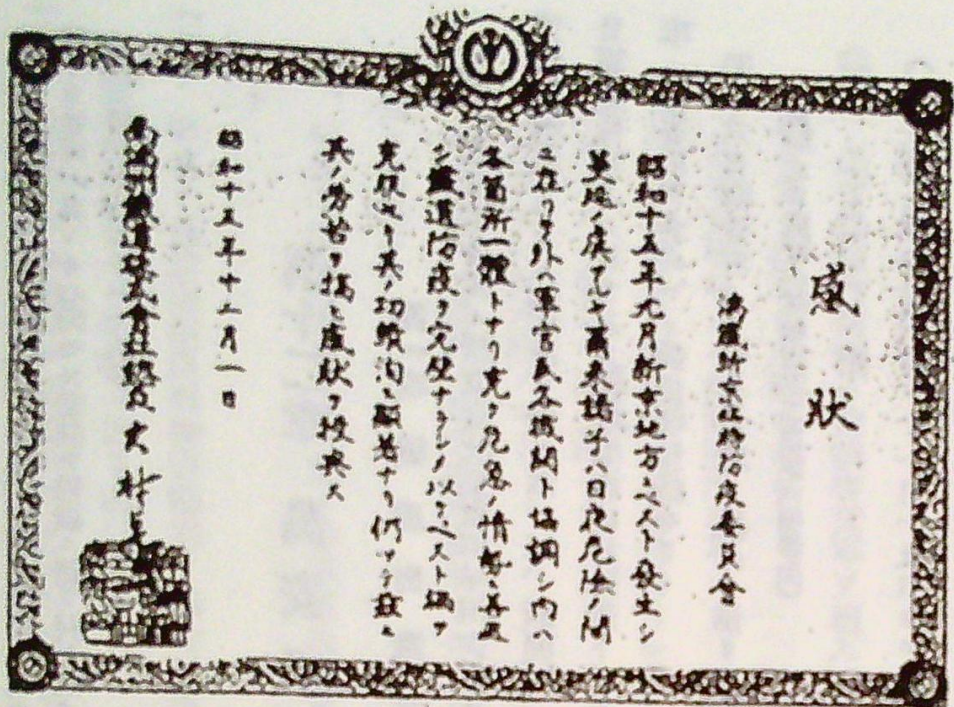
第一章 今次ベスト流行状況.....	106
第二章 檢疫班ノ編成.....	109
第三章 防疫措置.....	111
第一項 豫防接種.....	111
第二項 列車乗込検査.....	117
第三項 新京驛ニ於ケル望診.....	123
第四項 隔離及停留.....	125
第五項 戸口検査.....	129
第六項 家族及近ノ隔離.....	134
第七項 消毒.....	151
1 掃却消毒.....	151
2 砒瓦斯消毒.....	154
3 カルホル放式消毒.....	159
4 SK式消毒.....	167
5 一般藥物消毒.....	174
第四章 経理.....	177
第五章 防疫費.....	184
第六章 效果.....	188

目次

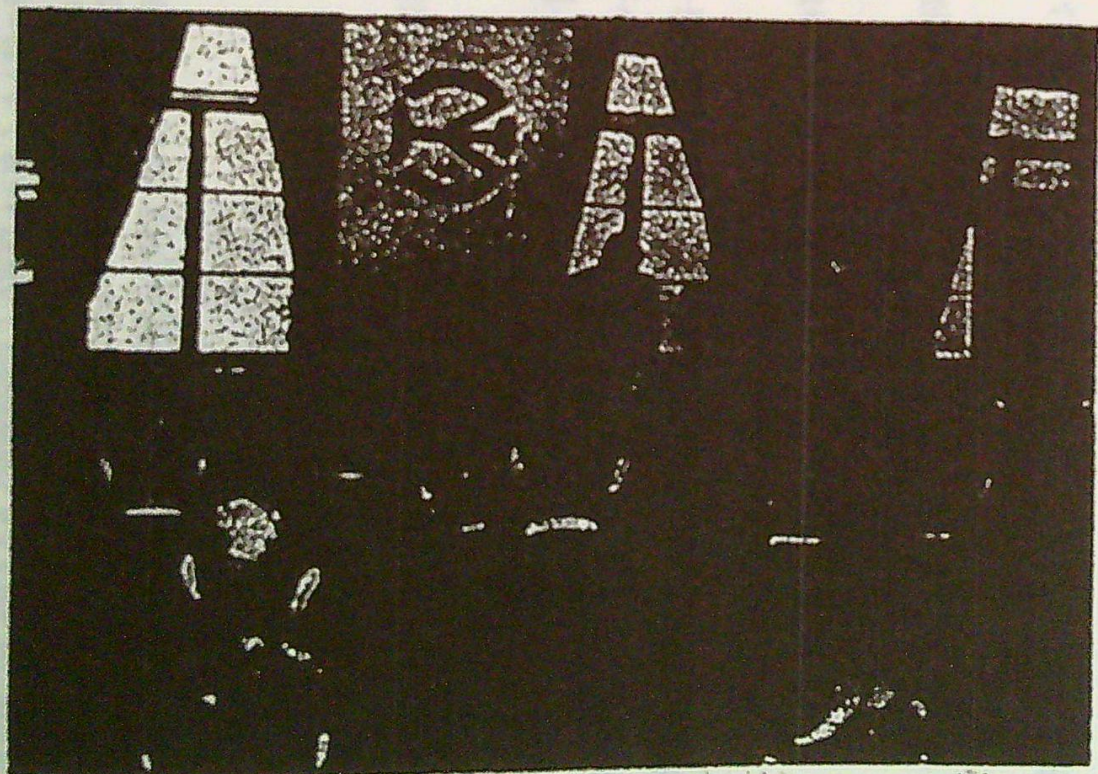
四



(社文)



感 状 謝



(社支京新於) 式與授状感

11 文

14

第一章 今次メスト流行状況

第二章 検査班ノ編成

第三章 防疫措置

第四章 防疫接種

第五章 列車乗込検査

第六章 参考文献

一〇六

一〇七

一一一

一一一

一一七

如ク装置スルコト

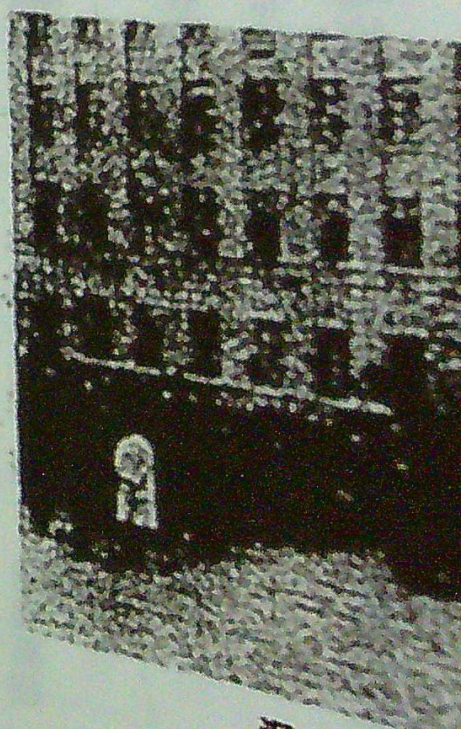
(一) 宿舎手配並電話架設ノ爲メ檢車區員及電氣區員ヲ派遣スルコト

(五) 新京―農安間職員並物資輸送ノ臨時列車運轉ニ就テハ野鐵ヨリ別途運達アルニ付右ニ依リ處置ノコト

(六) 自動車ヲ現地ニテ使用スルニ付左ニ依リ供出スルコト

イ、輛數 バス一〇、トラック一五、計二五輛(含附屬品)

ロ、車輛ハ十九日十二時迄ニ農安驛ニ集結ノコト



出發状況

上ルトコロチアリマシテ致方アリマセンカ諸般會社員チアリマス各位ニ對シテハ決シテ隔離中ハ勿論隔離後ノコトニ就テモ心配イテナイ  
總會社ニ於テ處置シ各位ノ出動ヲ待ツテ居ルノチアリマス  
即チ隔離出動不能中ト總會社ニ出動ト同様ノ給料手當ヘ支給スル外尙出來ルタケノコトハスルワモリチアリマス  
何ウカ各位ハ吳々モ心配セス元氣ヲ健康ニ氣ヲ付ケ良ク係官廳ノ指示ニ從ヘテ防疫ニ注意スル様希望シマス  
昭和十五年十月十八日  
新京支社長  
平島理事

### 第十二章 農安派遣隊

#### 第一項 編成出發迄

十月十五日非公式ニ新京支社長宛軍早川少佐ヨリ新京附近ニ於ケル病源地帯ニシテ新京防疫ニ應接關係ヲ有スル農安縣城附近「ベスト」區域ヲ期ス爲、軍、滿洲國、滿鐵、滿赤合同ニテ之カ防疫ヲ實施スルニ付協力方申入レアリ且同日軍會報席上ニ於テ之カ防疫隊編成並滿鐵トシテ協力スヘキ事項即チ防疫隊員ノ輸送手配宿營用トシテノ列車及自動車(從事員ヲ含ム)ノ供出等協議セリ。

翌十六日關係者ノミ合協議ノ結果ニ依リ不取敢花並事項手配方總局宛連絡セリ。

(通關之カ確保ハ通關班第二章第六項參照)

記

(一) 隊編成期間 十月十九日ヨリ約二週間

(二) 人員 約一、二〇〇名

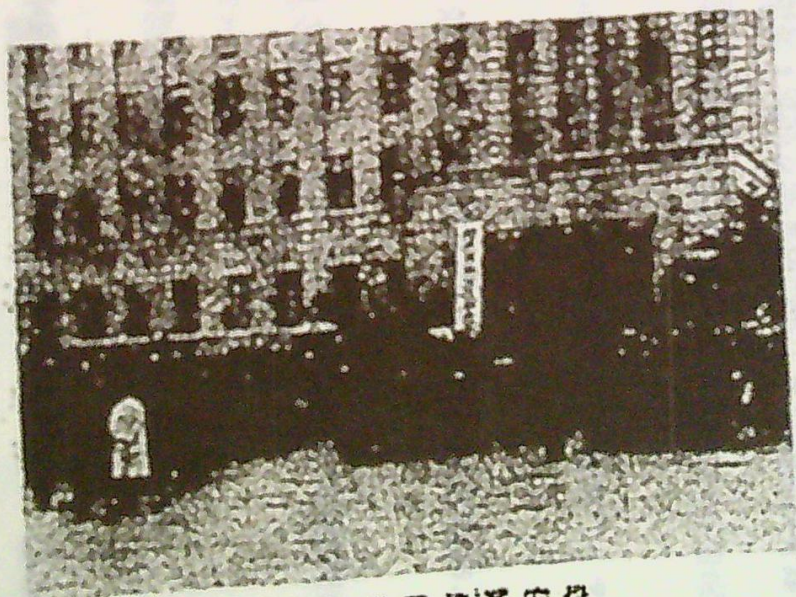
第二編 任務

四三

第二編 務 班

四四

- (三) 隊員物資ノ輸送並宿營ノタメ客車二三輛(ロネ二、ハネ五、ハ一五)貨車二三(ヤ一、ム二)十九日八時迄ニ新京驛ニ集結供出ノコト
- (四) 農安驛構内側線ニ前號客貨車ヲ廻入シ宿營並診療施設ヲ爲スヲ以テ左ノ諸項ヲ手配スルコト
  - イ、宿營用客車ニハ夜間通汽スルコト
  - ロ、購貨物倉庫ヲ事務室トシテ提供スルコト
  - ハ、ロネニハ寢具一式入附ノコト
  - ニ、ハネニハ枕入附ノコト
  - ホ、ハノ座席ニ適當ノ板ヲ置き各ボツクスニ二名宛櫛臥可能ナル如ク装置スルコト
  - ヘ、宿營手配並電話架設ノ爲メ檢車區員及電氣區員ヲ派遣スルコト
- (五) 新京―農安間隊員並物資輸送ノ臨時列車運轉ニ就テハ野倣ヨリ別途通知アルニ付右ニ依リ處置ノコト
- (六) 自動車ヲ現地ニテ使用スルニ付左ニ依リ供出スルコト
  - イ、輛 數 バス一〇、トラック一五、計二五輛(含附屬品)
  - ロ、車輛ハ十九日十二時迄ニ農安驛ニ集結ノコト



農安驛邊發出現狀

ムルトコロチアリマシテ數方アリマセンカ薩摩會社員ヲアリマス各位ニ對シテハ決シテ隔離中ハ勿論隔離後ノコトニ就テモ心配イタナイ  
 協會社ニ於テ處置シ各位ノ出動ヲ待テ居ルノチアリマス  
 國ヲ隔離出動不能ト雖會社ニ出動ト同様ノ給料手當ヘ支給スル外尙出來ルタケノコトハスルワモリチアリマス  
 何ツカ各位ハ具々モ心配セス元氣ヲ健康ニ氣ヲ付ケ具々ノ保官ヲ指示ニ從ヘレ防疫ニ注意スル様希望シマス  
 昭和十五年十月十八日  
 新 京 支 社 長  
 平 島 理 事

第十二章 農安派遣隊

第一項 編 成 出 發 途

十月十五日車公式ニ新京支社長宛宛軍早川少佐ヨリ新京附近ニ於ケル州縣地帯ニシテ新京防疫ニ應接確保ヲ有スル處



大連陸軍病院

衛生大尉吉岡政夫

八、隊長ハ第四及第六項ノ部隊、人員ノ新京ニ於ケル宿營給養ヲ擔任スヘシ

九、農安縣城附近「ベスト」病源地帯防疫實施ノ細項ニ關シテハ軍參謀長ヲシテ指示セシム

關東軍司令官 梅津大將

下述法 要旨ヲ電報(命令受領者ニ口達)後印刷交付

配布先 尾高、鷺津、波田、安井、野副部隊、關崑、臨防疫、新京、哈爾濱、大連、安東、第一、海拉爾第

一、各陸軍病院、部内、最高顧問、滿洲國政府關係廳司

別紙

ハ、運轉手共ノ他所要人員ヲ十九日九時迄ニ新京支社前ニ集結ノコト

(七) 本隊ニ加ハリ隊長ノ指揮下ニ入ル滿鐵社員ハ臨時軍屬ト爲ス旨關東軍トノ間ニ協議済

積イテ次ノ如ク正式ニ關東軍命令及關東軍臨時ベスト防疫隊本部ノ農安附近ベスト防疫計畫ニ接シタリ。

「備考」一

關作命甲第三八〇號

關東軍命令

十月十六日十二時  
新京軍司令部

一、軍ハ首都新京ノ防疫障ヲ更ニ強化シ施行「ベスト」ノ早期絶滅ニ努ムルト共ニ一部ヲ以テ新京防疫ニ直接關係ヲ有

スル農安縣城附近「ベスト」病源地帯ノ防疫ヲ實施セントス

二、關東軍臨時「ベスト」防疫隊本部長ハ依然前任務ヲ執行スルト共ニ一部ヲ以テ農安縣城附近「ベスト」病源地帯ノ防

疫ヲ實施スヘシ

右農安縣城附近「ベスト」病源地帯防疫實施ノ爲滿洲國民生部保健司長及滿鐵臨時防疫委員會委員長ヲ區處スヘシ

三、關東憲兵隊司令官ハ以然前任務ヲ執行スヘシ

農安縣城附近「ベスト」病源地帯ノ防疫警務ニ關シテハ滿洲國警務機關之ニ任ス

四、尾高、鷺津部隊長ハ別紙ノ部隊ヲ臨時編成シ十月十九日十二時迄ニ新京ニ派遣シ關東軍臨時ベスト防疫隊本部長

ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

五、新京陸軍病院長ハ現ニ補備教育中ノ短期現役軍醫全員及臨時教育委員大部ヲシテ十月十六日十八時以降關東軍臨

第二編 陸 軍

四五

第二四 職 班

四六

時「ベスト」防疫隊本部長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

六、哈爾濱陸軍病院長ハ關東軍衛生部下士官候補者教育部長ヲシテ現ニ教育中ノ衛生下士官候補者全員ヲ十月十七日十二時迄ニ新京ニ派遣シ關東軍臨時「ベスト」防疫隊本部長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

七、波田、安井部隊長及大連陸軍病院長ハ夫々左記衛生科校ヲ速ニ新京ニ派遣シ關東軍臨時「ベスト」防疫隊本部長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

左 記

安東第一陸軍病院	衛生大尉佐藤鶴雄
海拉爾第一陸軍病院	衛生中尉林田藤市
大連陸軍病院	衛生大尉吉岡政夫
八、	隊長ハ第四及第六項ノ部隊、人員ノ新京ニ於ケル宿營給養ヲ擔任スヘシ
九、農安縣城附近「ベスト」病源地帯防疫實施ノ細項ニ關シテハ軍參謀長ヲシテ指示セシム	關東軍司令官 梅 津 大 將
下述 法	要旨ヲ電報（命令受領者ニ口達）後印刷交付
配布先	尾高、鷺津、波田、安井、野副部隊、關遼、臨防疫、新京、哈爾濱、大連、安東、第一、海拉爾第一、各陸軍病院、部内、最高顧問、滿洲國政府關係廳司

別 紙

ハ、運轉手共ノ他所要人員ヲ十九日九時迄ニ新京支社前ニ集結ノコト

(七) 本隊ニ加ハリ隊長ノ指揮下ニ入ル滿鐵社員ハ臨時軍屬ト爲ス旨關東軍トノ間ニ協議済

被イテ夫ノ如ク正式ニ關東軍命令及關東軍臨時「ベスト」防疫隊本部ノ農安附近「ベスト」防疫計畫ニ接シタリ。

「備考」一

關東軍命令第三八〇號

關東軍命令

十月十六日十二時  
新京軍司令部

報スルモノトス

昭和十五年十月六日

關東軍參謀長 飯村 中將

關東軍臨時「ベスト」防疫隊本部長殿

參考配布區分

總司令部、野戰部隊、最高顧問、部内、滿洲國政府關係部

「備考」三

臨時編成部隊進出區分表

部	隊	編	成	基	準	進	出	部	隊
第一	防疫	班	將校ノ指揮スル下士官四兵約八十名ヨリ成ル			尾	高	部	隊
第二	防疫	班	將校ノ指揮スル下士官二兵約四十名ヨリ成ル			雲	津	部	隊

「備考」二

指示

關作命甲第三八〇號ニ基キ左ノ如ク指示ス

- 一、農安縣城附近「ベスト」病源地帯防疫實施開始ノ時期ハ一月二十日トシ約二週間ヲ以テ一應之カ終結ヲ圖ルモノトス
- 二、農安縣城附近「ベスト」病源地帯ノ防疫實施場所左ノ如シ

第二編 務 班

第二編 雜 班

畢家店附近

松樹坨子附近

三、農安縣城附近「ベスト」病源地帯ノ防疫實施ノ爲特ニ地據スヘキ事項左ノ如シ

1 防疫ノ實施ハ新京直接防疫ニ最モ關係ヲ有スル重要地域ヨリ開始スルヲ本則トス

2 防疫ノ實施ニ方リテハ特ニ民心ノ安定ニ努ムルト共ニ民衆ヲシテ自ラ進ンテ防疫ニ従事スル如ク利導スルコトニ努ムルモノトス

3 本防疫實施終結ニ伴ヒ滿洲國側獨自ノ機關ヲ以テ所要ノ期間首都新京ノ直接防疫ニ遺憾ナカラシムル恒久的對策ヲ講シ得ル如クスルモノトス

4 防疫従事員ノ本病感染ノ豫防對策ニ關シテハ特ニ高遺憾ナカラシムルモノトス

四、關東軍臨時「ベスト」防疫隊本部長ハ關係機關ト協定シ防疫實施要領ヲ策定シ豫メ報告スルト共ニ關係機關へ通報スルモノトス

昭和十五年十月六日

關東軍參謀長 飯 村 中 將

關東軍臨時「ベスト」防疫隊本部長啟

參考配布區分

總司令、野田總隊、最高顧問、部内、滿洲國政府關係機關

「備考」三

臨時防疫隊要員出張分表

部	職	編 成	出 張
第一	防疫 班	將校ノ指揮スル下士官兵約八十名ヨリ成ル	尾 高 部 隊
第二	防疫 班	將校ノ指揮スル下士官二兵約四十名ヨリ成ル	重 津 部 隊

一、下士官(或ハノ)衛生士十名ヲ充ツルモノトス

二、兵(或ハ三分ノ一ノ衛生兵トシテ)或ハノ衛生兵ヲ充ツルモノトス

三、防疫隊員(或ハノ)衛生士十名ヲ充ツルモノトス

南滿洲鐵道株式會社

鐵道總局長 佐藤 應次郎 殿

農安附近ベスト防疫實施ノ爲自動車十五輛バス一〇輛(運轉手共)ヲ十九日十二時迄ニ農安驛ニ差出シ關東軍臨時ノ  
スト防疫隊本部長ノ指揮ヲ受ケシメラレ度依命通牒ス

追而右差出ノ細部ニ關シテハ左記ニ據ラレ度

左 記

差出期間ハ概テ十週間トス

派遣將校經由

關參一發第四四二二號

農安附近ベスト防疫ノ爲車輛供出ニ關スル件

昭和十五年十月十七日

關東軍參謀長 飯 村 穰

南滿洲鐵道株式會社

鐵道總局長 佐藤 應次郎 殿

農安附近ベスト防疫業務實施ノ爲十月十九日ヨリ概テ二週間機關車一、二等寢臺車二、三等寢臺車五、三等客車一  
五有蓋貨車四無蓋貨車三(所要従事員ヲ含ム)ヲ農安驛ニ留置シ軍ニ供用セシムルト共ニ之ニ伴ヒ農安驛施設ノ一部ヲ  
軍ニ使用セシメラレ度依命通牒ス

追而右ハベスト防疫ノ爲止ムヲ得サル處置ニシテ一般ニ適用スル儀ニアラサルモノト承知相成度  
尙細部ニ關シテハ左記ニ據ラレ度申添フ

左 記

- 一、供出車輛ハ新京ヨリ農安迄輸送スルベスト防疫隊員輸送列車ノモノヲ流用ス  
但シ右輸送ハ野戰鐵道司令部ノ計畫スルトコロニ依ル
- 二、供出車輛ハ防疫隊員ノ宿泊ニ使用ス之カ爲三等客車ニハ簡單ナル寢臺施設ヲナスモノトス
- 三、右列車宿泊ノ爲必要ナル鐵道従事員ハ本期間關東軍臨時ベスト防疫隊本部長ノ指揮ニ入ルモノトシ臨時軍場(但  
シ無給トス)トス

第二編 總 務 部

四九

第二編 務 班

五〇

尙本期間ニ於ケル鐵道従事員ノ宿營、給養ハ軍ニ於テ擔任ス

四、供出車輛ノ専用料ハ軍、滿鐵間軍事輸送關係業務規定ニ據ルモノトス

五、農安縣施設中車ノ使用ニ供スルハ驛構内ノ貨物倉庫トシ之ニ所要ノ電燈通信施設ヲナスモノトス

六、以上車輛ノ専用、驛、車輛等ニ實施スル施設ニ要スル經費ハ軍ニ於テ其實費ヲ負擔ス

七、以上實施ノ細部ニ關シテハ軍主任參謀ヲシテ連絡セシム

「備考」四

派遣將校經由關參一發第四四二三號

農安附近ベスト防疫ノ爲自動貨車差出ニ關スル件

昭和十五年十月十七日

關東軍參謀長 飯 村 穰

南滿洲鐵道株式會社

鐵道總局長 佐藤應次郎 殿

農安附近ベスト防疫實施ノ爲自動車十五輛バス一〇輛(運轉手共)ヲ十九日十二時迄ニ農安驛ニ差出シ關東軍臨時ベ  
スト防疫隊本部長ノ指揮ヲ受ケシメラレ度依命通牒ス

追而右差出ノ細部ニ關シテハ左記ニ據ラレ度

左 記

差出期間ハ概ネ二週間トス

派遣將校經由

關參一發第四四二三號

農安附近ベスト防疫ノ爲車輛供出ニ關スル件

昭和十五年十月十七日

關東軍參謀長 飯 村 穰

南滿洲鐵道株式會社

鐵道總局長 佐藤應次郎 殿

農安附近ベスト防疫實施ノ爲十月十九日ヨリ概ネ二週間機關車一、二等貨車二、三等貨車五、三等客車一  
五、自動貨車四、自動貨水三(所屬受車員ヲ含ム)ヲ農安驛ニ留置シ軍ニ供用セシムルト共之ニ伴ヒ農安驛施設ノ一部ヲ

- 一、ハ依然現状ノ儘トス
- 二、交通遮断ハ十月十九日日没迄其ノ配備ヲ完了スルモノトス
- 三、畢家店、榆樹坨子等農安縣城ヨリ遠隔セル部落ノ交通遮断ニ任スル隊員ノ裝備給養ニハ特ニ遺憾ナキヲ期シ其ノ不備、不充分ノ爲ニ感染ノ災禍ヲ招クカ如キコトナカラシム
- 四、患者發生ナキ部落ト雖濫リニ立入ルコトヲ禁止ス

第六、警 備

- 一、本期間ニ於ケル滿鐵従事員ノ身分ハ臨時軍屬(但シ無給トス)トシ其宿營、給養ハ軍ニ於テ擔任ス
- 二、自動貨車及バスハ軍ノ借上トシ其料金及之カ輸送、従事員ノ差出ニ要スル經費ニ關シテハ別途軍、貴社間ニテ協定スルトコロニ據リ軍ニ於テ負擔ス

「備考」五

農安附近ベスト防疫計畫 關東軍臨時ベスト防疫隊本部

二五部中第一六號

第一、方 針

農安近傍ノベスト利源ヲ一舉ニ掃蕩シ以テ國都新京ノベスト禍ヲ速ニ終熄セシム  
 特ニ防疫従事員ノベスト感染ノ豫防ニハ萬遺憾ナキヲ期ス

第二、要 領

- 一、先ツ目下患者多發シアル農安縣城附近ニ重點ヲ指向シ主力ヲ以テ農安縣城近傍各一部ヲ以テ畢家店及榆樹坨子附近ノ防疫ヲ實施スル傍ヲ所要ノ部落ニ對シ臨時一部ヲ派遣シ得ル如ク準備ス
  - 二、滿洲國警察隊ハ十月十九日日没迄ニ農安縣城近傍畢家店及榆樹坨子附近ノ交通遮断ヲ實施ス
  - 三、交通遮断ノ配備完了ト共ニ防疫ノ趣旨ヲ住民ニ周知徹底セシメ以テ民心ノ恐慌不安ヲ防止ス
  - 四、防疫部隊ノ主力ハ滿洲國警察隊ニ相續イテ農安ニ到リ直ニ防疫ノ諸準備ニ着手ス
  - 五、二十日朝ヨリ防疫ヲ開始ス
- 但シ當初畢家店、榆樹坨子附近ニ對シテハ防疫斥候ノ派遣ニ止ム

第二編 總 括

第二編 務 班

五二

- 六、後被防疫部隊ハ二十日七時十五分新京出發農安ニ追及シ防疫ニ参加ス
- 七、農安縣城内外畢家店及榆樹坨子附近ニ於テ防疫ヲ實施スル傍ラ適時所要ノ地點ニ防疫斥候ヲ派遣シ患者發生ノ實況ヲ確ム

第三、防疫隊ノ編成並裝備

附表第一ノ如シ(缺表)

第四、防疫實施

防疫實施要領別冊ノ如シ(缺冊)

第五、交通遮斷

滿洲國警察隊ハ左記諸項ニ準據シ交通遮斷ヲ計畫實施スルモノトス。

記

- 一、防疫實施ノ初頭ニ於ケル交通遮斷地域附圖第一其ノ一ノ如シ、農安縣城ニ於ケル交通遮斷ノ現配備(附圖其ノ二)ハ依然現狀ノ儘トス
- 二、交通遮斷ハ十月十九日日沒迄其ノ配備ヲ完了スルモノトス
- 三、畢家店、榆樹坨子等農安縣城ヨリ遠隔セル部落ノ交通遮斷ニ任スル隊員ノ裝備給養ニハ特ニ遺憾ナキヲ期シ其ノ不備、不充分ノ爲ニ感染ノ災禍ヲ招クカ如キコトナカラシム
- 四、患者發生ナキ部落ト雖濫リニ立入ルコトヲ禁止ス

第六、警 備

- 一、本期間ニ於ケル滿鐵從事員ノ身分ハ臨時軍屬(但シ無給トス)トシ其宿費、給養ハ軍ニ於テ擔任ス
- 二、自動貨車及バスハ軍ノ借上トシ其料金及之カ輸送、從事員ノ差出ニ要スル經費ニ關シテハ別途軍、資社間ニテ協定スルトコロニ據リ軍ニ於テ負擔ス

第七、計 劃

農安附近ベスト防疫計畫 關東軍臨時ベスト防疫隊本部

二五號中第一六號

第一、方 針



3 施設位置ノ有否ニ関シテノモトメ  
4 施設時期  
十月二十日十時迄ニ完了スルモノトス

二、農安縣城附近

1 防疫用

イ、施設ノキキ通信網附圖第二ノ如シ

野副部隊ヨリ派遣セラルル警備部隊ハ農安附近防疫實施地域ニ於ケル全般ノ警備ニ任スル外所要ニ應ジ防疫警務ノ支援後援タルモノトス。

宿舎其ノ他ノ直接警戒ハ各機關緊密ナル連絡ノ下ニ自ラ之ニ當ルモノトス。

特ニ防諜ニ留意ス。

第七、輸送

一、新京ヨリ農安方面ヘノ輸送ハ左表ニ據ルモノトス但シ列車運行ノ細部ハ野鐵ニ於テ計畫ス

番列車	輸送數	輸送時日	備註
第一列車	滿洲國軍部隊 七六五名	新京發 十九日 一四時二〇分 農安着 十九日 一六時二〇分	宿營用車輛ヲ充當スルモノトス
第二列車	防疫隊主力 警備隊 滿洲國軍部隊 民衆衛生 電氣部救済隊	新京發 十九日 一五時四〇分	一、客車ハ宿營用車輛ヲ充當スルモノトス 二、貨車ハ主トシテ函筒、宿營器具、消毒具ヲ積載ス
貨	有蓋(内一輛警備隊) 二輛 フラット	農安發 十九日 一八時〇二分	

第三編 總務班

五三

第二編 務 編

五四

車列三第		
第一及第二防疫隊二二八名	新京發	二十日 七時一五分
	農安發	普通列車トス

二、農安ヨリ昇家店及檢樹埧子間ノ警察隊員及防疫斥候ノ檢送ハ自動貨車ニ依ルモノトス

第八、通信連絡

一、新京農安間

1 滿鐵守備専用線ヲ使用シ左圖ノ如ク回線ヲ構成ス

農安ノ端局施設ハ滿鐵、新京ニ於テハ軍司令部擔任トス

農安

新京



本部(縣西側中學校)

軍司令部(第一隊)

2 障礙時ハ麻機通線ノ他ノ回線若ハ電線ニ依ルモノトス

3 施設位置ノ細部ニ關シテハ現地ニ於テ指示ス

4 施設時期

十月二十日十時迄ニ完了スルモノトス

二、農安縣城附近

1 防疫用

イ、施設メヘキ通信網附圖第二ノ如シ

野副部隊ヨリ派遣セラルル警備部隊ハ農安附近防疫實施地域ニ於ケル全般ノ警備ニ任スル外所要ニ應ジ防疫警察務ノ支援後援タルモノトス。

宿舎其ノ他ノ直接警察ハ各機關緊密ナル連絡ノ下ニ自ラ之ニ當ルモノトス。

特ニ防護ニ留意ス。

第七、輸送

一、新京ヨリ農安方面ヘノ輸送ハ左表ニ據ルモノトス但シ列車運行ノ細部ハ野鐵ニ於テ計畫ス

第十一、宜 撫

左記要項ニ準據シ滿洲國側ニ於テ計畫實施スルモノトス

一、住民ノ逃走ヲ防止スル必要上防疫實施ヲ秘匿シ十月十九日夕警察隊ヲ以テスル交通遮斷ノ配備完了ト共ニ一般ニ周知セシムルモノトス

二、交通遮斷ト共ニナルヘク速ニ防疫實施ノ趣旨ヲ了得セシメ以テ民心ヲ恐慌動搖セシメサル爲萬般ノ手段ヲ講ス

別冊

派遣部隊宿營計畫

一、農安停車場宿舎準備數左ノ如シ(客車充當)

二十等 寢 寮

四八名分(二車輛寢具附)

ロ、施設擔任、電電トス

ハ、要 領

新京本社ヨリ所要ノ要員及資材ヲ十月十九日第二臨時列車ニテ新京發農安ニ輸送ス速ニ作業ヲ終了シ翌日嚴重

消毒ノ上歸京スルモノトス

施設後ノ維持並防疫終了後ノ撤収作業ハ主トシテ現地電電社員ニテ實施スルモノトス

ニ、經 費

軍負擔トス

2 齊 齋 川

發務司ニ於テ計畫施設スルモノトス

三、畢家店其ノ他ノ連絡施設

自動車、列車便、飛行機等ニ依リテ連絡スルヲ主限トシ尙爲シ得レハ發務司、滿鐵、電電等ノ餘剩資材ヲ以テ電話

回線ヲ構成スルモノトス

第九、照 明

一、施 設

附圖三ノ如シ

二、擔 任

電電トス

第二編 總 務 班

五五

第二編 務 原

五六

三、要 領

新京本社ヨリ所要ノ要員及資材ヲ十月十九日第二臨時列車ニテ新京發農安ニ輸送ス  
速ニ作業ヲ終リ翌日嚴重ニ消毒ノ上歸京スルモノトス

四、経 費

軍負擔トス

第十、宿 營 給 養

宿營給養計畫

別冊ノ如シ。

第十一、宣 撫

左記要項ニ準據シ滿洲國側ニ於テ計畫實施スルモノトス

一、住民ノ遁走ヲ防止スル必要上防疫實施ヲ秘匿シ十月十九日夕終察隊ヲ以テスル交通遮斷ノ配備完了ト共ニ一般ニ  
周知セシムルモノトス

二、交通遮斷ト共ニナルヘク速ニ防疫實施ノ趣旨ヲ了得セシメ以テ民心ヲ恐慌動搖セシメサル爲萬般ノ手段ヲ講ス  
別冊

派遣部隊宿營給養計畫

一、農安停車場宿舎準備數左ノ如シ(客車充當)

十一等 寢 寮

四八名分(二車輛裝具附)

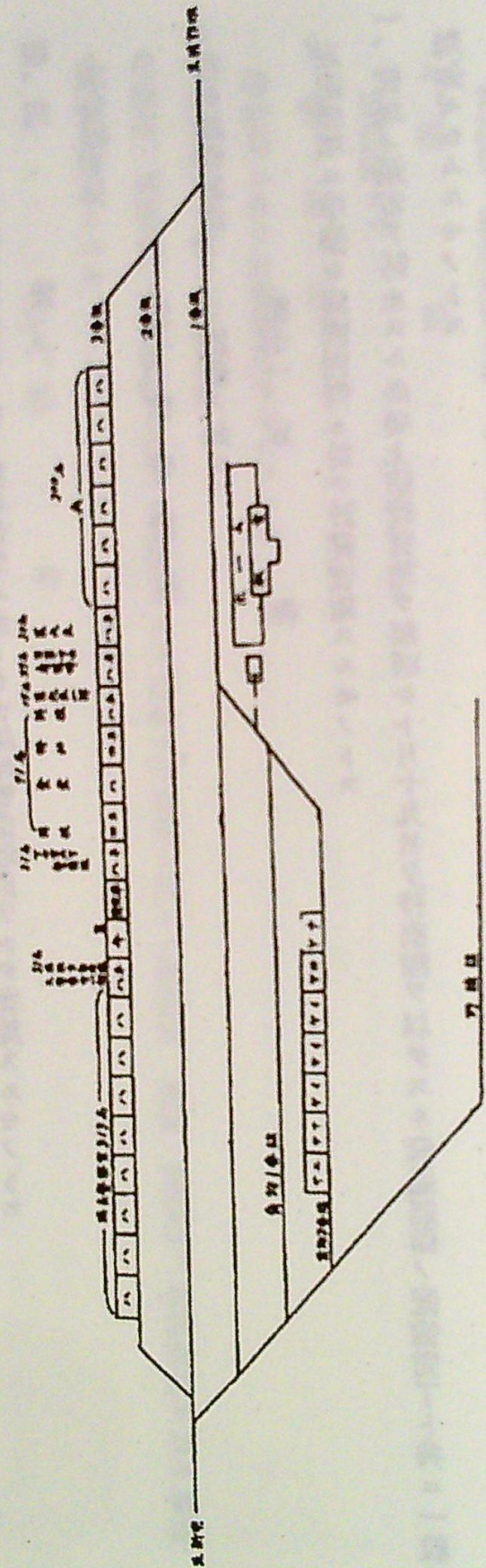
ロ、施設擔任、電電トス

ハ、要 領

新京本社ヨリ所要ノ要員及資材ヲ十月十九日第二臨時列車ニテ新京發農安ニ輸送ス速ニ作業ヲ終了シ翌日嚴重  
消毒ノ上歸京スルモノトス

施設後ノ維持並防疫終了後ノ維持作業ハ主トシテ現地電電社員ニテ實施スルモノトス

イ、費 用



備考  
 1 豫備二等客車 一二  
 2 軍ノ將校ニシテ三等車ヲ使用スルモノハ一區間ヲ四人ニテ使用シ  
 上段ハ荷物段ニ使用セシム  
 1 滿洲、滿蒙ノ給養ハ軍ニ於テ概然ス  
 2 滿洲國及蒙疆鐵道ハ現立給養ヲ行フモノトス

第二編 第四 班

七三

使用区分	使用者	軍	滿	接	滿	州	國	滿	赤	蒙	務	院
三等客車	計	二七五	一三	一〇	七四	三六	一〇	三六	三〇	三〇	三〇	三〇
二等客車		二〇〇	一	一〇	六二	三	一〇	一	三〇	三〇	三〇	三〇
三等客車		一五〇										
計		二七五	一三	一〇	七四	三六	一〇	三六	三〇	三〇	三〇	三〇

三等寝床 三二〇名分(五車輛)  
 三等客車 六六二名分(一五車輛一輛四名使用)  
 計 一、〇三〇分

二、宿舍使用區分左ノ如シ  
 夜間車内ハ蒸氣煤房及發電ニ依リ點燈ヲ爲スモノトス。

使用區分		使用者		使用區分		使用者	
二等寝床	二五	軍	一	二等寝床	二五	軍	一
二等客車	一	滿洲	二	二等客車	一	滿洲	二
三等寝床	一五〇	滿洲	一〇	三等寝床	一五〇	滿洲	一〇
三等客車	二〇〇	赤雲務	三〇	三等客車	二〇〇	赤雲務	三〇
計	二七五	赤雲務	三六	計	二七五	赤雲務	三六
		總	四〇			總	四〇

備考

- 1 階級二等寝床 一二 三等客車 一〇〇
- 2 軍ノ將校ニシテ三等車ヲ使用スルモノハ一區間ヲ四人ニテ使用シ  
 上段ハ荷物置場ニ使用セシム
- 1 滿洲、滿蒙ノ船隻ハ車ニ於テ燃當ス
- 2 滿洲國及華務館ハ獨立給養ヲ行フモノトス

第二編 第四章

七〇

派遣社員ノ名簿並自動車隊ノ編成左ノ如シ。

農安ベスト防疫派遣員名簿						
所	部	資	格	職	氏	名
洗南	協	同	監	理	所	長
高	橋	勲	一	四	四	記
事						

第三編 業務班

第三編 業務班

四、軍ノ給養次ノ如ク...

- 1 イ、新京滞在間、營内居住下士官以下ノ宿舎給養ハ野間部隊ノ擔任
- ロ、其ノ他ノモノノ宿舎ハ野間部隊ニ於テ擔任シ給養ハ陸海軍規定第五表定額内實費支辨トス
- 2 新京以外ニ出動中ハ陸海軍規定第五表定額内實費支辨トス
- 3 交通遮断間ニ於ケル食糧其ノ他ノ補給ニ費糧ナカラシム
- 4 防疫實施上住民ニ被ラシメタル損害ハ對メテ之ヲ補償ス
- 5 防疫開始ト共ニ事實ヲ新聞其ノ他ニ發表シ不安疑惑ノ一掃ニ努ム
- 6 以上皆ニ民心ノ安定ニ努ムルノミナラス住民ヲシテ自主積極的ニ防疫ニ協力從事スル如ク利導スルモノトス

第十二、教育

育

農安附近防疫實施間ニ於ケル教育ハ左記要領ニ據ルモノトス。

記

- 一、關東軍派遣衛生將校三名及短期軍醫三八名ノ教育
- 十六日防疫隊ノ全殺任務ニ就キ實施
- 十七日、十八日要員ヲ任務別ニ各班ニ配屬シ専門事項ヲ實地ニ習得セシム
- 二、十九日増配セラルヘキ關東軍派遣衛生部下士官候補者(約一二〇名)或兵(一二〇名)ニ對スル教育
- 1 現滿洲國ベスト發生狀況
- 2 ベスト防疫隊ノ任務編成裝備
- 3 ヘスト病、ベスト疫學ニ就テ

- 4 ベスト診断(ベスト菌ノ性状培養法、ベストノ早期診断)
- 5 ベストノ防疫並撲滅法ニ就テ
- 6 活動寫眞教育

十月十八日農安行臨時列車時刻モ十月十九日第一列車ハ新京驛第四ホーム發一四時一〇分農安着二六時十七分第二列車ハ同シク一五時十分農安着十七時十七分ト決定シ夫々派遣人員ノ選定車輛供出連絡方法(毎日午前午後ノ二回定時通話)等準備完了シ十九日之等農安派遣社員ハ新京支社第三會議ニ於テ委員長ヨリ見エサル故ト暇ヲ諸子ノ勞苦身ノ危険ハ實ニ御氣毒ニ堪エヌカ今回ノ撲滅隊ノ任務ノ重大性ニ鑑ミ滿鐵社員トシテ一層ノ努力ヲ望ム旨懇篤ナル訓示アリ且亦社員會新京聯合會主催ニテ壯行會ヲ催シ尾崎聯合會長ハ特ニ先人ノ名ヲ辱シメサル様全員一致共ノ重責ヲ果シ無事歸還セラル、採神カケテ御祈リスル旨ノ激勵ノ辭ヲ述ヘ見送ルモノ見送ラル、モノ共ニ感激セリ。

派遣社員ノ武選長久ヲ新リ新京神社ノ御守及マスクヲ贈呈シ萬歳ノ聲ニ勇シク元氣旺盛一路農安ニ向ケ出發シタリ。

派遣社員ノ名簿並自動車隊ノ編成左ノ如シ。

記

農安ベスト防疫派遣員名簿						
所	職	格	職	名	氏	年
洗南協同監理所	副	警	監	所	長	高田島一
						四四

第二編 任務班

五九

第二編 任務班

五八

四、軍ノ輸送及ノ如ク

1 イ、新京浦在間

管内居住下士官以下ノ宿舎給養ハ野間部隊ノ擔任

ロ、其ノ他ノモノノ宿舎ハ野間部隊ニ於テ擔任シ給養ハ陸海軍規定第五表定額内實費支辨トス

3 新京以外ニ出動中ハ陸海軍規定第五表定額内實費支辨トス

4 交通運輸ニ於ケル食糧其ノ他ノ補給ニ消費ナカラシム

5 防疫官上住民ニ被ラシメタル損害ハ對メテ之ヲ補償ス

6 防疫官ト共ニ事實ヲ調査其ノ他ニ發表シ不安感惹ク一掃ニ努ム

7 以上皆ニ民心ノ安定ニ努ムルノミナラス住民ヲシテ自主積極的ニ防疫ニ協力從事スル如ク利導スルモノトス







一、鐵道防疫ノ編成

- 二、農安驛並警護隊農安分所へスト防疫對策作成及之カ實施
  - 三、驛ヨリ東方百米地點(農安街道)ニ於テ警護隊員並驛員ヲ以テ該箇所ノ出入者全員ニ對シ消毒及警戒ヲナス
  - 四、驛北側(白城子寄)踏切ノ交通警戒ハ警護隊員之ニ當ル
- 即チ概略農安驛ヲ中心ニ三百米以内ニ於ケル圈内ヲ農安鐵道防疫班活動地帯トシテ防疫ニ當レリ。
- 第四 關東軍ニ於ケル防疫情況
- 關東軍へスト防疫隊ハ十九日十六時二十分着ノ第一次防疫隊(警察官)七六五名先頭ニ第二次ハ十八時二分防疫隊本

第二編 總務班

六三

第二編 總務班

六二

同	同	車	手	員	李	四	案	二	三
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

農安派遣自動車班ハ之ヲ二箇分隊トシ第一分隊ハ三箇班十七名第二分隊ハ二箇班十二名トシ隊長以下三十一名ノ編成ナリ。

尙之等派遣員ハ十月二十三日夫々軍宛軍屬トシテノ手續ヲナシタリ。

第二項 農安ニ於ケル狀況

第一 農安街ノ人口

農安街人口ハ左ノ如クナルカベスト發生後約三分ノ一ニ及フ住民ハ何レカ逃亡セルモノノ如シ。

日	系	二	一	名
滿	系	三	二	、八
		三	五	名
計		三	三	、〇
		三	六	名

第二 現在迄ノベスト發生狀況並防疫隊着農ノ狀況

現在迄ニ於ケルベスト死亡者累計ハ農安縣城二六五名現患者數ハ二九名ナリシカ防疫隊着農後ノ狀況ハ十一月十九日現在ニ於テ

一、ベスト患者ナシ

死亡累計

二九八名

治療果計

五六名

二、對人防疫

イ、檢診人員

二二、二一八名(有熱者ナシ) 果計 九一八、一四九名

ロ、健康隔離者

三名

三、對動物防疫

ナ  
シ

第三 鐵道ニ於ケル防疫狀況

農安聯ニ於ケルベスト防疫對策トシテハ聯ベスト防疫要綱交通遮斷班ノ編成及勤務要領ニ依リ之ニ協力スルノ外  
鐵道關係自體防疫ノ強化ニ努メ鐵骨一致左記方法ニ依リ防疫ニ從事セリ。

記

一、鐵道防疫ノ編成

二、農安聯救護隊農安分所ベスト防疫對策作成及之カ實施

三、聯ヨリ東方百米地點(農安街道)ニ於テ警護隊員救護員ヲ以テ該箇所ノ出入者全員ニ對シ消毒及警戒ヲナス

四、聯北側(白城子寄)踏切ノ交通警戒ハ警護隊員之ニ當ル

即チ概略農安聯ヲ中心ニ三百米以内ニ於ケル圈内ヲ農安鐵道防疫班活動地帯トシテ防疫ニ當レリ。

第四 關東軍ニ於ケル防疫情況

關東軍ベスト防疫隊ハ十九日十六時二十分着ノ第一次防疫隊(警察官)七六五名先頭ニ第二次ハ十八時二分防疫隊本

第二編 應務班

六三

第二編 應務班

六二

同	同	車	手	員	手	回	案	二	三
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

農安鐵道自動車班ハ之ヲ二箇分隊トシ第一分隊ハ三箇班十七名第二分隊ハ二箇班十二名トシ隊長以下三十一名ノ編成ナリ。

由之ニ乗務員ハ十月二十三日夫々軍宛軍票トシテ手續ヲナシタリ。

第二項 農安ニ於ケル狀況

キハ四輛ヲ以テ宿務地ヨリ本邦ニ歸ル。本邦ニ歸ルハ特ニ危険ニ付各自ノ身體並車輛ノ消毒ハ入念ニ且自發的ニ何回モ繰返セリ。

尙本班中ノ一輛ハ毎日不寝番ノ送迎ヲモ爲シ居リ深更一時ニ及フコト尠カラス。

二、検 査 班

國民高等學校ニ本部ヲ置キキト二輛ヲ以テ班員並捕鼠用品、藥品等ヲ患者發生地帯ノ家屋送輸送ス。  
検査班ハベストノ媒介ヲ爲ス鼠蚤犬猫ノ驅除撲殺ヲ計ルヲ以テ目的トシ之等ニ必要ナル捕鼠用品藥品ノ配給並捕鼠

第二編 總 務 班

第二編 總 務 班

部員及滿洲ノ三六〇名二十日九時三十分着ノ第三次防疫隊(關東軍)一二八名ヲ最後トシ防疫隊本部ヲ不取敢城内小學  
校ニ置キ關東軍之カ統轄ニ當ルコトナリ二十日各々訓示アリタル後宜撫班ハ指導將校七名軍屬四十名ヲ以テ農安驛  
長、協和會、警察署長、衛生等ヲ勸カシ細胞組織トシ一般ニ働キ掛ケ宜撫工作ノ徹底ヲ期スヘク十時三十分檢診班ハ  
十二個分隊ヲ以テ責任地域ヲ定メベスト發生地要圖ヲ作成十一時診察班ハ軍醫二十二名看護婦二十八名ヲ以テ編成十  
二時四十分効疫斥候班ハ防疫上必要ナル偵察ヲナシ防疫對策ノ確立並防疫ヲ有効ニ運用セシムル目的ヲ以テ十四時區  
署ニ就ケリ。

特官隊ハ到着後直チニ三箇大隊ニ分チ第一大隊ハ畢家店、第二大隊ハ縣城内、第三大隊ハ城外ヘ向ツテ出動二十一  
時包圍隊形ヲ完了セリ。

編 成

- イ、防疫斥候班
- ロ、檢 査 班
- ハ、消毒給水班
- ニ、野大野鼠撲滅班
- ホ、檢 査 班
- ヘ、病理解剖班
- ト、經理資材班
- チ、宣 撫 班

リ、交通監視隊

(滿洲國警官隊ヲ以テ組織三大隊ニ分ツ)

尙農安渡員ノ總指揮ニ當リタル高橋洸南鐵道管理所長ノ左ノ報告ニ詳細ヲ知ルヘシ、即チ、自動車隊ハ隊長以下  
三二名ヲ以テ編成之ヲ二箇分隊八班ニ分チ夫々防疫隊各班ニ編入所屬班ノ任務遂行ニ當レリ。

隊員資材ノ輸送ハ勿論城内ニ部落ニ汚染地帯深ク進入シ或時ハ死體ヲ或時ハ患者ヲ隔離者、收容運搬シ生々シキ現  
實ノ危険ニ曝サレツツ死ノ恐怖ヲモ忘レ只管防時ニ精進シ居ルモ時ニ危険ノ爲食ヲ喫スル能ハス又雨後ノ泥路ニ憫  
マサルアリ或ハ患家ノ探訪ニ奔弄セラルアリテ其ノ苦心ハ想像ニ絶スルモノアリ六時半起床、點呼、車隊ノ整備  
朝食出勤ト日没迄目マクルシキ活動ノ連続ニモ拘ラス隊長以下元氣旺盛ニテ軍ノ稱讃裡ニ各班ノ任務ヲ完遂セリ其ノ  
活動状況左ノ如シ。

一、檢 診 班

キハ四輛ヲ以テ宿營地ヨリ本部へ防疫隊員ヲ輸送本部ヨリ直ニ各目的地へ出勤スル檢診隊ノ輸送並其ノ日ノ活動ヲ  
終ヘタル防疫隊員ヲ本部ヨリ宿營地迄輸送ス本班ハ特ニ危険ニ付各自ノ身體並車輛ノ消毒ハ入念ニ且自發的ニ何回  
モ繰返セリ。

尙本班中ノ一輛ハ毎日不寝番ノ送迎ヲモ爲シ居リ深更一時ニ及フコト尠カラス。

二、撲 滅 班

國民高等學校ニ本部ヲ置キキト二輛ヲ以テ班員並捕鼠用品、藥品等ヲ患者發生地帯ノ家屋迄輸送ス。  
撲滅班ハベストノ媒介ヲ爲ス鼠蚤犬猫ノ驅除撲殺ヲ計ルヲ以テ目的トシ之等ニ必要ナル捕鼠用品藥品ノ配給並捕鼠

第三編 陸 軍

六五

第三編 陸 軍

六四

部員及滿洲ノ三六〇名二十日九時三十分着ノ第三次防疫隊(關東軍)一二八名ヲ最後トシ防疫隊本部ヲ不取敢城内小學  
校ニ駐チ關東軍之ヲ統轄ニ當ルコトトナリ二十日各々訓示アリタル後宜撫班ハ指導將校七名軍屬四十名ヲ以テ農安縣  
農、畜和合、警備署長、衛生等ヲ助カシ補給組織トシ一般ニ働キ掛ケ宜撫工作ノ徹底ヲ期スヘク十時三十分檢診班ハ  
十二個分隊ヲ以テ宿營地ヲ定メムスト發生地帯圖ヲ作成十一時診察班ハ軍醫二十二名看護婦二十八名ヲ以テ編成十

第六 農安縣構内要圖及列車停留狀況(附圖參照)

第七 防疫隊ニ對シ施設供與

防疫隊到着後列車内ニ宿泊スル爲特ニ之レカ爲メノ諸施設(風呂便所)ノ供與並隊長室トシテ一、二等待合室並室トシテ三等待合室又防疫隊將校用浴場施設場所トシテ裝甲軌道車庫内ノ一室ヲ提供セリ。

第八 到着荷物ノ處置

到着小荷物及貨物ノ引取りハ交通遮斷ニ依リ從來ヨリ困難ヲ來シ居リタルカ今般ノ防疫陣ノ強化ニ依リ之カ引取りハ一層至難ノ狀勢トナリ一方城内外住民ノ生活必需品(防疫陣ノ強化ニ比例シ缺乏ノ度ヲ加ヘオル情勢ニ鑑ミ之カ對策トシテ縣長ト懇談縣長ノ責任ニ於テ縣防疫班ノ名目ヲ以テ之カ運搬ヲナシ眞荷主ヘ引渡方轉換ノコトニ協定(配送

第二編 總務 班

六七

第二編 總務 班

六六

ノ蒐集ヲ爲シ又滿人組長(ノ鼠ノ捕獲方法等ヲ説明時ニ患者ノ收容患家ノ見舞等ヲ爲スコトアリ。  
三、防疫本部附

國民高等學校ニ本部ヲ置キキハ三キト一ヲ以テ本部員ノ連絡輸送並各隔離所トノ連絡業務ニ從事ス又宣傳ヒラ配布ノ爲城内ニ出動シ或ハ寫眞班ト行動ヲ共ニスルコトアリ。

四、戰團司令部

キハ六輛ヲ以テ編成サレ縣警務科ニ本部ヲ置ク毎日宿營地ヨリ本部迄ノ所員ノ輸送警察官隊ノ輸送並各班トノ連絡ニ從事ス又毎日一名畢家店ニ連絡員トシテ夜間軍ト共ニ野營ヲ爲シ勤務ハ交替制ヲ採リ居レリ。

五、病理解剖班

キト三輛ヲ以テ編成ス最初一輛ナリシモ輸送多忙ノ爲途中ヨリ二輛ヲ増ス各部落ヨリ死體並隔離收容者ノ輸送ニ從事ス檢診班ノ通報ニ基キ患家ヲ探シ患者並健康者ノ收容ヲ爲スモ滿人ハ隔離所ヘ收容サレルヲ厭ヒ隱蔽スルヲ以テ飛テモナイ處ヲ救ヘラレルコト等アリテ收容者ノ探索ニハ一方ナラヌ苦心ヲ爲セリ。

六、防疫斥候班

キハ二輛キト二輛ヲ以テ編成シ斥候班員ヲ輸送病家ノ調査探索ニ從事ス。

七、消毒給水班

キト二輛ヲ以テ編成サレ各班各箇所ニ於ケル消毒水ノ給水並各部落ヘノ消毒水ノ輸送ヲ爲ス。

八、經理費材班

本部ヲ分遣隊舍ニ置キキト一輛ヲ以テ各班ヘノ資材ノ輸送ニ從事ス。

第五 停留客車内宿泊人員

- 一、日軍下士以上 三百名
- 一、哈爾濱醫大生 四十五名
- 一、哈爾濱赤十字社看護婦 二十七名
- 一、將校(哈醫大教授ヲ含ム) 七十一名
- 一、守備隊下士以下 三十一名
- 一、滿采警察官(約半數ハ出勤) 三百十三名
- 一、自動車隊員 三十一名
- 計 八百十八名

第六 農安驛構内要圖及列車停留狀況(附圖参照)

第七 防疫隊ニ對シ施設供與

防疫隊到着後列車内ニ宿泊スル爲特ニ之レカ爲メノ諸施設(風呂便所)ノ供與錠隊長室トシテ一、二等待合室食堂トシテ三等待合室又防疫隊將校用浴場施設場所トシテ裝甲軌道車庫内ノ一室ヲ提供セリ。

第八 到着荷物ノ處置

到着小荷物及貨物ノ引取りハ交通遮斷ニ依リ從來ヨリ困難ヲ來シ居リタルカ今般ノ防疫陣ノ強化ニ依リ之カ引取りハ一層至難ノ狀勢トナリ一方城内外住民ノ生活必需品ハ防疫陣ノ強化ニ比例シ缺乏ノ度ヲ加ヘオル情勢ニ鑑ミ之カ對策トシテ縣長ト懇談縣長ノ責任ニ於テ防疫班ノ名目ヲ以テ之カ運搬ヲナシ眞荷主ヘ引渡方轉換ノコトニ協定(配達)

第二編 陸 軍

第二編 陸 軍

ノ更ニ又シ又滿人組長(ノ最ノ補強方法等ヲ説明時ニ患者ノ收容患者ノ見舞等ヲ爲スコトアリ。  
三、防疫本部附  
防疫本部員ノ本務ヲ担ハキハ三キト一ヲ以テ本部員ノ連絡輸送並各隔離所トノ連絡業務ニ從事ス又宣傳ヒラ配布



十一月十四日附錄應座四〇第五號八ノ五ヲ以テ後示該有ニ對シテ

農安附近へスト防疫ニ關スル滿洲國滿鐵間ノ協定書

民生部次長土肥瀧ト南滿洲鐵道株式會社鐵道總局長佐藤應次郎ノ間ニ左記ノ如ク協定ス

記

一、滿鐵ノ派遣人員

機關區員  
檢車區員

三名(職員一、傭員二)  
五名(傭員五)

第二編 務 班

第二編 務 班

荷物ノ荷受人印鑑ハ縣長代印ヲ承認ス。到着通知ハ縣公署庶務科へ通知スルコトトシ以テ引取ノ圓幣ト滯貨ノ防止ヲ期スルコトトセリ。

因ニ防疫隊來農後右ニ依リ縣長へ引渡數量左ノ如シ

小 荷 物	小荷物到着個數	四四七個
貨 物	縣長印ニテ引渡シタル數	一五〇個
	防疫隊へ引渡シタル數	二九一個
	貨物到着處數	一三三九處
	縣長印ニテ引渡シタル數	一六二七處
	其ノ他引渡シタル數	四五處
	貨小	一五九七處
	貨小	二二二處
	貨小	三〇處
	貨小	切口
	貨小	切口
	貨小	切口

第三項 軍引揚ケニ伴ヒ引續キ滿洲國へ協力

農安ニ於ケル軍ノ行フ防疫ハ豫定通ノ二週間ヲ以テ十一月七日引揚ケト決定之ニ代リテ滿洲國ニ於テ引續キ防疫ニ從事スルコトトナリタルヲ以テ軍同様に協力スルコトトセリ。

民生部公函第一六四號(民保防第二三三號)

康徳七年十月三十一日

民生部大臣 呂 榮 宣

南滿洲鐵道株式會社

總 裁 大村卓一 殿

農安ベスト防疫ニ關スル施設引續方ニ關スル件

農安ベスト防疫ノ爲現在貴社ヨリ關東軍ニ供與中ノ人員車輛等ハ防疫機構ヲ當部ニ於テ引續ク場合必要有之ニ付十一月二日以降當分ノ間現在關東軍ニ供與中ノ諸施設ヲ現状ノ儘引續キ當部ニ供與方特ニ御配慮相成度右及依頼追テ細部ニ關シテハ本部保健司長ト貴社鐵道總局長ニ於テ協定セシメ度ニ付爲念  
民官房發第二五四五號(民保防第二五〇號)  
康徳七年十一月二十七日  
民生部次長 土 肥 顯 團

南滿洲鐵道株式会社

總裁 大村卓一殿

農安附近ベスト防疫ニ關スル諸施設貸借契約方ノ件

十一月十四日附鐵總庶四〇第五號八ノ五ヲ以テ御承認有之候旨圖ノ件別紙契約書ニ調印送付申上候ニ付一部折返シ  
回送相成度候

農安附近ベスト防疫ニ關スル滿洲國滿鐵間ノ協定書

民生部次長土肥顯ト南滿洲鐵道株式会社鐵道總局長佐藤應次郎ノ間ニ左記ノ如ク協定ス

記

- 一、滿鐵ノ派遣人員
- 機關 區員 三名(職員一、傭員二)
- 檢車 區員 五名( 傭員 五)

第二編 地 區

第二編 地 區

貴物ノ寄受人印鑑ハ縣長代印ヲ承認ス。到着通知ハ縣公署庶務科へ通知スルコトトシ以テ引取ノ因得ト滞貨ノ防止ヲ期スルコトトセリ。

四ニ防疫隊來後右ニ依リ縣長へ引渡數量左ノ如シ

小 荷 物 小荷物到着個數

四四七個

縣長印ニテ引渡シタル數

一五〇個

民生部負擔トス

六、農安聯ノ施設ハ滿鐵ニ於テ能フ限り民生部防疫隊ニ對シ便宜供與スルモノトス  
 七、復路輸送ハ一括之ヲ爲スモノトシ運賃料金ハ次ノ通トス

イ、旅 客

運賃ハ客車定員ニ對スル五割引トス但シ其ノ乗車人員カ客車定員五輛分以下ノ場合ハ客車五輛分ニ對スル五割引

トス

ロ、貨 物

貨車及發電車ノ運送ニ要スル運賃料金ハ貨物運送規則所定ニ依ル

但シ當該貨車ニ貨物積載シタルトキハ當該貨物ノ取扱所定運賃料金ノミヲ收受スルモノトス

第二編 業務 班

七一

第二編 業務 班

七〇

自動車區員

三二名(職員一、傭員三一)

計

四〇名(職員二、傭員三八)

右派遣員ノ派遣中及歸還後隔離中ニ於ケル身分ニ關シテハ滿洲國保障ス

二、人 件 費

滿鐵派遣社員ニ對スル人件費ハ滿鐵旅費規程ニ依リ支出シタル費用全額ヲ民生部負擔ス

三、車輛及自動車ノ供與數、使用料金及期間

イ、車 輛

輛數 料 金

機關車

一輛 一輛一日壹百五拾貳圓

二等寢寮車

二輛 一輛一日參拾參圓

三等寢寮車

四輛 一輛一日貳拾四圓壹角

三等客車

八輛 八輛一日ニ付壹百七拾壹圓八角五分

備考

農安現在三等客車

貨 車 料 金

「ハ一」型

二輛 一輛一日ニ付

貳拾壹圓貳角五分

「ハ二」型

一輛 同

貳拾圓四角

「ハ三」型

四輛 同

貳拾壹圓六角五分

「ハ六」型

一輛 同

貳拾貳圓壹角五分

貨 車

三輛 同

參圓七角

發電車

一輛 同

拾七圓

自動車 二五圓

但シ一日ハ十時間トシ作業時間カ十時間ヲ超過シタル場合ハ右超過時間一時間若ハ其ノ未滿ニ就キ五圓五角ノ割増金ヲ加算スルモノトス

四拾四圓

緊急設備使用料

貳百八拾圓(貸與期間ヲ通シ二種分)

ロ、前號ノ車輛供與期間ハ昭和十五年十一月七日ヨリ防疫隊引揚迄トス

ハ、自動車及發電車用ノガソリンハ民生部負擔トシ所要ノ油費類ハ滿鐵負擔トス

四、自動車輸送運賃

農安聯ヨリ各自動車ノ所屬箇所迄ノ鐵道輸送運賃ハ民生部負擔トス

五、防疫隊引揚後滿鐵派遣員ノ隔離(隔離中文給スル旅費モ含ム)ニ要スル費用及車輛其ノ他ノ消毒ニ要シタル費用ハ

民生部負擔トス

六、農安聯ノ施設ハ滿鐵ニ於テ能フ限り民生部防疫隊ニ對シ便宜供與スルモノトス

七、復路輸送ハ一括之ヲ爲スモノトシ運賃料金ハ次ノ通トス

イ、旅客

運賃ハ客車定員ニ對スル五割引トス但シ其ノ乗車人員カ客車定員五輛分以下ノ場合ハ客車五輛分ニ對スル五割引トス

トス

ロ、貨物

貨車及發電車ノ輸送ニ要スル運賃料金ハ貨物運送規則所定ニ依ル

但シ當該貨車ニ貨物積載シタルトキハ當該貨物ノ取扱所定運賃料金ノミヲ收受スルモノトス

第二編 總務課

七一

第二編 總務課

自動車區員

三二名(職員一、傭員三一)

計

四〇名(職員二、傭員三八)

右該區員ノ派遣中及歸還後隔離中ニ於ケル身分ニ關シテハ滿洲國保障ス

二、人件費

七〇

機關手	松元秀治	藤岡仲夫	石本武夫	西森秀樹
機關助手	松本勝英			
車電員	高橋芳雄			
車手員	李樹棠			

香城滿雄

渡邊茂  
横山三次郎  
辻實  
滋崎侑

第二編 務班

七三

第二編 務班

七二

八、滿洲國ニ對シ滿鐵ヨリ前記ノ諸費用賃料金を請求スル際ハ民生部トス  
九、本協定書ハ相互ニ各一通ヲ保有ス

康德七年十一月二十七日

昭和十五年十一月二十七日

民生部次長

土

肥

國

南滿洲鐵道株式會社

鐵道總局長

佐

藤

應

次

郎

印

第四項 農安派遺隊ノ引揚

軍ニ引續キ實施シ來リタル滿洲國機關ニ依ル防疫モ十一月二十七日滿洲國防疫委員會ニ於テ情勢ノ變化ニ伴ヒ農安派遺中ノ警官隊ノ一部約三百名ヲ十一月三十日引揚クルコトニ決定セリ  
從而現地使用中ノ車輛ハ三等廢棄車一、三等客車六、機關車一、發電車一、バス九、トラック二、計二〇ヲ殘置シ他ノ車輛(二等廢棄車二、三等廢棄車三、三等客車一、バス六、トラック八、計二〇)ハ新京へ廻送シ直ニS五式消毒ヲ實施スルコトトセリ。

右ニ伴ヒ殘置車輛委員ハ其ノ任務ノ重要性ニ鑑ミ特ニ殘留シ任務完了シタキ申出アリタル左記ノ者ヲシテ充當スルコトトシ他ノ十九名ハ警官隊ト共ニ三十日農安發八一四列車ニテ歸還セリ此ノ日驛頭ニハ神守委員長初メ各委員並ニ社員會新京聯合會ハ社員會旗ヲ先頭ニ出迎ヒ數十日ノ不自由而モ日夜危險ナル業務ニタツサワリタル同僚社員ノ元氣一杯且ツ規律アル動作ハ出迎ノ者ヲシテ感激セシメタリ一同下車並列スルヲ神守委員長ハ懇篤ナル慰勞ノ辭ヲ述ヘラ

レ、之ニ對シ平松班長ハ派遣中ノ報告ヲナシタル後社歌ヲ高ラカニ合唱シ滿鐵社員ノ意氣旺ナルヲ遺憾ナク具現セリ  
 直チニ社員宿泊所ニ至リ致ニ於テ五日間ノ隔離ニ服シ此ノ間一同何等異狀ナク十二月四日二十四時豫定通り之カ解  
 除ヲ受ケ翌五日新京支社ニ於テ留守委員長代理トシテ北條總務班長ノ挨拶ヲ受ケ一同極メテ元氣ニテ解散夫々任地ニ  
 歸還セリ

尙之ニ先ク十一月十五日派遣日數及苦勞ヲ考慮シ一應全派遣社員ノ交代ヲ企圖セルモ全員進シテ歸還ヲ肯セスベ  
 スト防疫ノ使命ヲ遂行センカ爲メ其ノ危險ナル業務ニ携リタルハ特記スヘキ事柄ナリ

記

自動車助役	有安 英俊	奥田 勇次郎	川越 吉之
送轉手	増川 昇一	葛原 快市	森川 源三郎
	綱野 正成	渡邊 茂	辻 實
	西森 秀樹	横山 三次郎	濱崎 侑
	石本 武夫		
	藤岡 仲夫		
機關手	松元 秀治	香城 滿雄	
機關助手	松本 勝英		
車電員	高橋 芳雄		
車手員	李 樹棠		

第二編 總務班

第二編 總務班

八、滿洲國ニ對シ滿鐵ヨリ前記ノ諸費用貸料金ヲ請求スル際ハ民生部トス  
 九、本館支費ハ相互ニ各一通ヲ保有ス

昭和七年十一月二十七日

昭和十五年十一月二十七日

第二編 陸 海 軍

七四

而シテ發置自動車及留置客車及人員左ノ如シ

自動車發置區輛數

防疫隊防疫班

防疫警察隊

計

留置客車及人員

第二編 陸 海 軍

七四

バス六輛

バス三輛

十一輛

トラック二輛

	ハ 326	ハ 271	ハ 32	ハ 3324	ハ 2047	ハ 3304	ハ 328	ハ 3587
--	----------	----------	---------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------

日本防疫隊  
日本防疫隊  
日本防疫隊  
日本防疫隊  
日本防疫隊  
日本防疫隊  
日本防疫隊  
日本防疫隊  
日本防疫隊

三三五名  
三三七名  
二一〇名

二五名

二五名

二七名

三〇名

三八名

十二月十三日滿洲國防疫委員會ニ於テ更ニ十九日一齊ニ豫安殘留防疫隊引揚ケ決定シタルニ付直ニ社内各關係箇所  
連絡シ之カ處置ニ萬全ヲ期セリ而シテ十九日正午臨時列車編成ヲ以テ到着スルヤ一同聊カノ疲勞モ見モス元氣ニテ

ホームニ降り立テ神守委員長代理北條輝勝班長ノ挨拶ヲ受ケ直ニ社員宿泊所ニ至リ三日間ノ静養（現地隔離ヲ終リ居ルヲ以テ本回ハ何等制限ヲ受ケス）ヲナシ二十一日支社ニ於ケル解散式ニ特ニ尾崎社員會新京聯合會長ノ挨拶ヲ受ケ夫々任地ニ歸還セリ

本防疫隊引揚ケニ依リ二十一日附ヲ以テ農安縣城ノ遮斷隔離並農安縣境ノ長春縣檢問所十三箇所ハ夫々解除セラレタリ

第二回 任務

七五

第二回 任務

七四

而シテ設置自動車及留置客車及人員左ノ如シ

自動車運送機數

防疫隊防疫車

バス六輛

トラクタ二輛

防疫隊防疫車

バス三輛

計

十一輛

留置客車及人員



之カ遂行ニ當リテハ寒風飛雪肌ヲ切ク中ニ立ツモノアリ或ハ猛毒ナル瓦斯國內ニアリテ不眠不休懸命セリ  
 彼上以テ令社機關ヲ死守シ鐵道運營ノ特異的自衛防疫ヲ完遂スルト共ニ他而軍官各機關ヲ輔翼シ官民提携短日月ニ  
 之ヲ熄滅シ得タルハ折決トスルトコロナリ

第四編 檢

疫

二四九

第四編 檢

疫

二四八

### 第五章 防 疫 費

新京ニ於ケル今次ノ流行ニ要セン防疫費中新京臨時防疫委員會檢疫班關係左ノ如シ

人 件 費	二七、五〇〇・〇〇
物 件 費	一七六、五六九・六四
備 品	一七、九六三・四〇
藥 品	五五、七三三・〇〇
醫 科 理 化	五、七九三・九四
消 耗 品	七三、七五三・一九
雜 費	二二、三二六・二一
合 計	二〇四、〇六九・六四

### 第六章 效 果

政治經濟交通ノ中心地タル國都ニ於ケル「ベスト」發生ニ伴ヒ余等先ツ防疫班ヲ組織シ次テ十月十二日新京臨時防疫  
 委員會ノ結成セララルルヤ檢疫班トシテ一五〇名ノ防疫員ヲ動員爾來三箇月眞性患者相次イテ發生シ恰モ烈風ニ煽搗セ  
 ラレタル猛火ノ如ク疫勢一時ニ瀕危セルタメ防疫ノ特性タル焦眉ノ急務ヲ緩急相應シ能ク之ヲ處理ス

即チ

豫防接種施行人員

二四一、〇九五名

列車乗込検査數

八四、九〇〇名

新京驛ニ於ケル望診人員

一〇二、〇二三名

戸口検査及特別検査人員

二五八、八九三名

捕鼠數

一一、〇〇〇頭

毒瓦斯消毒容積

六五、二一一・八三立方

「カルホール」放水式消毒施行面積

四七、二五四平方米

之方遂行ニ當リテハ寒風飛雪肌ヲ切ク中ニ立ツモノアリ或ハ猛毒ナル瓦斯圈内ニアリテ不眠不休懸命セリ

敘上以テ合社機關ヲ死守シ鐵道運営ノ特異的自衛防疫ヲ完遂スルト共ニ他而軍官各機關ヲ輔翼シ官民提提短日月ニ

之ヲ熄滅シ得タルハ折決トスルトコロナリ

第四編 疫

二四九

第五編 疫

二四八

### 第五章 防疫費

新京ニ於ケル今次ノ流行ニ要セン防疫費中新京臨時防疫委員會検査班關係左ノ如シ

人員費

二七、五〇〇・〇〇

物件費

一七六、五六九・六四

一七、九六三・四〇